

## 鹿屋体育大学倫理審査小委員会 オプトアウト書式

今回の研究の実施にあたっては、鹿屋体育大学倫理審査小委員会の審査を経て、許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和7年12月31日までです。

①研究課題名	入学者選抜制度の検討：「2024年度 新入生アンケート」結果からみる鹿屋体育大学1年生の進学行動
②対象者及び対象期間	2024年6月に実施した「新入生アンケート」を受けた鹿屋体育大学2024年度入学者約180名
③概要	2024年の入学者を対象にして実施した「新入生アンケート」をもとにして、鹿屋体育大学への入学に至るまでの経緯や情報の入手方法等について検討する。
④研究の目的・意義	2024年の入学者を対象にして実施した「新入生アンケート」をもとにして、鹿屋体育大学への入学に至るまでの経緯や情報の入手方法等について検討し、アドミッションポリシーに適う人材の獲得、志願者増のための取り組み及び、入学後の教育に役立てるために実施する研究の基礎的な資料とすることを目的とする。
⑤研究期間	2024年7月24日～2025年12月31日
⑥情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	上記研究（論文執筆）遂行のため。使用するデータは個人が特定されないように匿名加工もしくは仮名加工を行い、研究に使用します。
⑦利用または提供する情報の項目	学籍番号、入試区分、所属している（予定も含む）課外活動団体、鹿屋体育大学の存在を初めて知るきっかけ、鹿屋体育大学に関する情報を得るために、何を利用したか、鹿屋体育大学にどうあってほしいか、鹿屋体育大学のオープンキャンパスや進学説明会への参加有無、鹿屋体育大学を受験した理由、どのような予備校や塾に通っていたか、鹿屋体育大学は第何志望か、鹿屋体育大学以外の志望大学とその結果、鹿屋体育大学を受験しようと決めた時期、大学・大学院卒業後の進路、「プレゼンテーション+口頭試問」試験に向けた準備時間、「プレゼンテーション+口頭試問」試験の準備の際の他者の手伝い、「プレゼンテーション+口頭試問」試験を経験したことで、大学で学ぼうとする意欲の高まり度合い、「プレゼンテーション+口頭試問」試験を経験したことが、大学で学ぶうえで役立っているかどうか、合格者に対するeラーニングを用いた入学前教育、入学前教育の実施に対する意見
⑧利用の範囲	スポーツ人文・応用社会科学系・准教授・中本浩揮 スポーツ人文・応用社会科学系・講師・栗山靖弘 アドミッションセンター特任研究員・佐藤伸之
⑨研究試料・情報の管理について責任を有する者 (お問い合わせ先)	鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系・准教授 中本浩揮 nakamoto@nifs-k.ac.jp 0994-46-4975

⑩事務局	鹿屋体育大学 研究・社会連携課 研究支援係 Tel : 0994-46-4871 E-mail : kokusai@nifs-k.ac.jp
------	------------------------------------------------------------------------------

以下は、過去に承認されたことがある場合

⑪承認番号	
⑫過去の研究課題名と 研究責任者	